



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 シーティーエス 上場取引所 東
 コード番号 4345 URL http://www.cts-h.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横島 泰蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務部長 (氏名) 北原 巻雄 TEL 0268-26-3700
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,519	9.6	1,694	22.6	1,622	19.1	1,096	17.4
2020年3月期第3四半期	6,859	5.1	1,382	14.5	1,362	15.1	934	15.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,114百万円 (19.0%) 2020年3月期第3四半期 937百万円 (18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	25.68	—
2020年3月期第3四半期	21.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,201	8,436	63.9
2020年3月期	11,720	7,842	66.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 8,436百万円 2020年3月期 7,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	6.00	—	6.20	12.20
2021年3月期	—	6.00	—		
2021年3月期（予想）				7.70	13.70

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2021年1月29日）公表いたしました「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	4.7	1,920	3.6	1,790	△1.6	1,230	△1.4	28.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	43,400,000株	2020年3月期	43,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	720,845株	2020年3月期	720,845株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	42,679,155株	2020年3月期3Q	42,679,155株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、業績予想の修正につきましては、東京証券取引所の上場規程に基づく開示義務を踏まえた上で、原則として、直近の予想値に対して、連結会計年度の決算値が下記の範囲を超えない限りにおいては開示を行わない方針です。

- ・ 連結売上高：見込まれる増減率が10%未満の場合
- ・ 連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益：見込まれる増減率が30%未満の場合

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）の当社グループの主要顧客である土木・建築業界を取り巻く環境につきましては、災害復旧・防災等の対応のため、公共投資は底堅く推移した一方、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等については、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、2021年3月期から2023年3月期までの3ヵ年を対象にした中期経営計画を策定いたしました。当社グループは建設ICTの専門企業として、その中核となる中期経営方針に下記の4項目を掲げるとともに、2023年3月期において達成すべき目標として3項目を設定しております。これらの方針を基に、目標を達成すべく事業を着実に展開してまいりました。

<中期経営方針>

- ・地場ゼネコンから広域ゼネコンへターゲット拡大
- ・土木系から建築系へ対象顧客の業種拡大
- ・システム・測量計測事業を中心とした独自商品・サービスの開発強化及びサポートの充実
- ・レンタルを基本とした営業・サポート体制の構築及び全国展開の推進

<中期経営目標>

- ・主力商品・サービス売上高（※） 80億円超（2020年3月期対比 50%超）
- ・営業利益率 20%超
- ・ROE 20%超

※ 主力商品・サービスは、繰り返し利用が多い「レンタル」とその「付随商品・サービス」及び「内製サービス」により構成されています。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、主力商品・サービスの営業に注力した結果、既存顧客を中心に受注が順調に推移し、売上高は7,519百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

利益面でも、付加価値の高い主力商品・サービスの売上高が増加したことにより、売上総利益が3,463百万円（前年同期比13.1%増）と順調に推移しました。また、販売費及び一般管理費は、主に測量計測事業における営業活動の効率化及びセミナー活動の休止等により減少した一方、処遇改善等により人件費が増加したことから、1,769百万円（前年同期比5.3%増）となりましたが、売上総利益の増加により営業利益は1,694百万円（前年同期比22.6%増）となりました。その結果、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益においても前年同期を上回る実績となりました。

なお、主力商品・サービスについては、主に既存顧客によるリピート利用が伸長し、レンタル稼働数が増加したことに伴い、売上高は4,496百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の実績は、下記表のとおりとなりました。

▼当社グループ

(単位：百万円、%)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同期比
売上高	6,859	7,519	9.6
営業利益	1,382	1,694	22.6
営業利益率	20.2	22.5	2.3pt
経常利益	1,362	1,622	19.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	934	1,096	17.4

▼主力商品・サービス

(単位：百万円、%)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同期比
売上高	3,942	4,496	14.1

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<システム事業>

当事業につきましては、クラウドストレージサービスを中心にモバイル回線及び入出力機器（ネットワークカメラ・MF P等）が一体となった、業界に特化したITインフラサービスのレンタル等に関して、主力商品・サービスを中心に商品力の強化及び営業に注力した結果、既存顧客を中心に受注が順調に推移し、当事業の売上高は3,541百万円（前年同期比16.7%増）となりました。利益面は、ITインフラサービスを主とした主力商品・サービス売上高の伸長により売上総利益が増加しました。また、中期経営計画に基づく積極的な人員増加策による人件費の増加などにより、販売費及び一般管理費も増加いたしました。売上総利益の増加が大きく、セグメント利益（営業利益）は1,020百万円（前年同期比31.3%増）となりました。

<測量計測事業>

当事業につきましては、測量機器及び計測システム等のレンタル・販売に関して、主力商品・サービスの営業に注力した結果、既存顧客を中心にワンマン測量システム・締固め管理システム「Geo-Press Cloud」等レンタル受注が順調に推移し、当事業の売上高は2,656百万円（前年同期比3.7%増）となりました。利益面は、レンタルをはじめとした主力商品・サービス売上高の伸長による売上総利益の増加と、営業活動の効率化及びセミナー活動の休止等による販売費及び一般管理費の減少により、セグメント利益（営業利益）は486百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

<ハウス備品事業>

当事業につきましては、建設現場事務所用ユニットハウス及び什器備品等のレンタル・販売に関して、工期の延長・長期化等により自社レンタルハウスの新規貸出・引取が減少しました。一方で、自社レンタルの稼働は堅調に推移したことから、当事業の売上高は875百万円（前年同期比4.8%増）となりました。利益面は、自社レンタルの稼働に伴う賃貸料は増加しましたが、新規貸出・引取の減少により付帯サービス料が減少したことから売上総利益が減少し、セグメント利益（営業利益）は149百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

<その他>

その他につきましては、売上高は446百万円（前年同期比4.0%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は38百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

▼セグメント

（単位：百万円、%）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	前年同期比
システム事業			
売上高	3,034	3,541	16.7
セグメント利益	777	1,020	31.3
セグメント利益率	25.6	28.8	3.2pt
測量計測事業			
売上高	2,560	2,656	3.7
セグメント利益	404	486	20.1
セグメント利益率	15.8	18.3	2.5pt
ハウス備品事業			
売上高	835	875	4.8
セグメント利益	151	149	△1.4
セグメント利益率	18.2	17.1	△1.1pt
その他			
売上高	429	446	4.0
セグメント利益	48	38	△20.4
セグメント利益率	11.3	8.6	△2.7pt

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は13,201百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,480百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が274百万円、その他流動資産が384百万円、リース資産が485百万円、その他有形固定資産が261百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は4,764百万円となり、前連結会計年度末と比較して886百万円増加いたしました。これは主にその他流動負債が520百万円、リース債務（固定）が438百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は8,436百万円となり、前連結会計年度末と比較して594百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,096百万円を計上した一方で、剰余金の配当520百万円を行ったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は63.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間の業績は計画に対して好調に推移しておりますが、当社の方針に則り、現時点で連結売上高について10%以上、あるいは連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については30%以上の変動が見通せないため、2020年4月30日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

ただし、上記の変動が見通せた場合は、直ちに開示を行ってまいります。

一方で配当予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績の進捗が好調であることを踏まえ、2020年4月30日に公表いたしました通期の配当予想を変更しております。詳細につきましては、本日（2021年1月29日）公表いたしました「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

▼期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末（中間）	期末	合計
前回発表予想（A） （2020年4月30日）	—	6円70銭	12円70銭
今回修正予想（B）	—	7円70銭	13円70銭
増減額（B－A）	—	1円00銭	1円00銭
当期実績	6円00銭	—	—
前期実績 （2020年3月期）	6円00銭	6円20銭	12円20銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,536	5,811
受取手形及び売掛金	1,630	1,688
たな卸資産	427	453
その他	233	617
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	7,822	8,566
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	1,883	2,369
その他（純額）	1,486	1,748
有形固定資産合計	3,370	4,117
無形固定資産	52	57
投資その他の資産		
その他	476	461
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	475	459
固定資産合計	3,898	4,634
資産合計	11,720	13,201
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464	493
未払法人税等	361	198
その他	1,660	2,180
流動負債合計	2,487	2,872
固定負債		
リース債務	1,216	1,655
その他	173	236
固定負債合計	1,390	1,891
負債合計	3,878	4,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	425	425
資本剰余金	2,399	2,399
利益剰余金	5,457	6,032
自己株式	△460	△460
株主資本合計	7,821	8,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	39
その他の包括利益累計額合計	20	39
純資産合計	7,842	8,436
負債純資産合計	11,720	13,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	6,859	7,519
売上原価	3,796	4,055
売上総利益	3,063	3,463
販売費及び一般管理費	1,680	1,769
営業利益	1,382	1,694
営業外収益		
受取配当金	1	1
受取地代家賃	1	1
その他	3	3
営業外収益合計	7	5
営業外費用		
支払利息	27	31
持分法による投資損失	—	46
営業外費用合計	27	78
経常利益	1,362	1,622
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	9	—
税金等調整前四半期純利益	1,371	1,622
法人税、住民税及び事業税	432	524
法人税等調整額	4	1
法人税等合計	437	525
四半期純利益	934	1,096
親会社株主に帰属する四半期純利益	934	1,096

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	934	1,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	18
その他の包括利益合計	3	18
四半期包括利益	937	1,114
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	937	1,114
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	測量計測 事業	ハウス備品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,034	2,560	835	6,430	429	6,859	—	6,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,034	2,560	835	6,430	429	6,859	—	6,859
セグメント利益	777	404	151	1,334	48	1,382	—	1,382

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事並びに安全用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	測量計測 事業	ハウス備品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,541	2,656	875	7,073	446	7,519	—	7,519
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,541	2,656	875	7,073	446	7,519	—	7,519
セグメント利益	1,020	486	149	1,656	38	1,694	—	1,694

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事並びに安全用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。